



◆企業会計決算額・地方債残高					(単位：万円)	
会計名		項目	21 年度	20 年度		
水道事業	収益的収支	収益	19 億 3,335	19 億 1,857		
		費用	18 億 7,599	18 億 7,767		
		純損益	5,736	4,090		
	資本的収支	収入	6 億 6,435	14 億 2,542		
		支出	15 億 1,788	23 億 8,338		
		不足分	8 億 5,353	9 億 8,976		
	地方債残高		95 億 9,164	96 億 1,325		
国民宿舎 サンホテル 衣川荘	収益的収支	収益	1 億 8,101	2 億 1,522		
		費用	2 億 1,455	2 億 2,122		
		純損益	▲ 3,354	▲ 600		
	資本的収支	収入	0	600		
		支出	380	836		
		不足分	380	236		
	地方債残高		—	—		
総合水沢病院	収益的収支	収益	27 億 5,984	27 億 2,779		
		費用	29 億 1,783	31 億 1,529		
		純損益	▲ 1 億 5,799	▲ 3 億 8,750		
	資本的収支	収入	3 億 2,921	3 億 6,763		
		支出	3 億 2,921	3 億 6,763		
		不足分	0	0		
	地方債残高		25 億 6,168	28 億 3,810		
まごころ病院	収益的収支	収益	10 億 4,870	10 億 6,933		
		費用	10 億 4,770	10 億 6,303		
		純損益	100	630		
	資本的収支	収入	2,114	6,974		
		支出	1 億 4,042	1 億 6,512		
		不足分	1 億 1,928	9,538		
	地方債残高		9 億 7,957	10 億 6,093		

※資本的収支の不足分は、過年度分の留保資金などから補てん

【用語解説】

- 実質赤字比率**…一般会計などの黒字や赤字の度合いを表す指標
- 連結実質赤字比率**…一般会計や企業会計などすべての会計を連結して、黒字や赤字の度合いを表す指標
- 実質公債費比率**…一部事務組合も含むすべての会計で、借入金の返済にどれぐらい充てているかを表す指標
- 将来負担比率**…一般会計が将来負担することになる実

質的な負債を表す指標

- 資金不足比率**…公営企業の事業規模に対して資金がどの程度不足しているかを示す指標
- 収益的収支**…公営企業の 1 年間の営業活動に係る収入と支出のこと
- 資本的収支**…公営企業の将来の営業活動に備えて行う設備投資に係る収入と支出のこと

地方自治体が経営する公営企業の決算

市町村などが経営している地方公営企業などは、一般会計から独立した「企業会計」で運営されています。本市にある 4 つの企業会計の決算状況をお知らせします。

水道事業では、水の安定供給のために、未給水区域の解消に向けた施設整備や、計画的な水道施設の更新を行いました。また、財政の健全化な

地方自治体の会計には、特定の収入で支出を賄う「特別会計」と呼ばれるものがあります。本市には、国民健康保険や介護保険、簡易水道事業、下水道事業など 10 の特別会計があり、会計ごとに決算が行われました。

国保や下水道など特別会計の決算

ましたが、国民健康保険特別会計では、税収や交付金などの減額分を補てんするために、財政調整基金を大幅に取り崩して対応しました。

簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計では、整備費用の一部を市債で賄ってきたため、市債を返済するお金である公債費の割合が高くなっています。

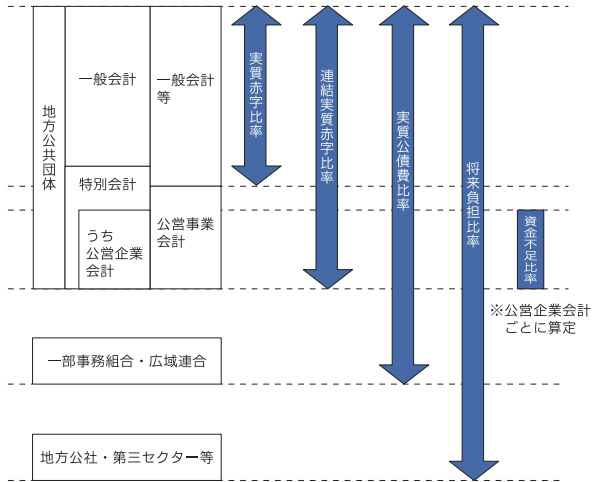
財政健全化比率

総務省は、地方自治体の財政破綻^{ほたん}などを受けて、19 年 6 月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」を定めました。

この法律によって地方自治体は▽健全度合いを表す財政指標の審査（監査委員による）を受けること▽議会への報告▽住民への公表——が義務付けられました。公表を制度化したことで、比率が悪化した地方自治体に対し、早い段階で健全化を促すことができました。

財政指標は、会計などの範囲から 4 つの種類（下図参照）に分かれており、抱えている負債や公営企業などの会計も判断基準に加えられたことが特徴です。

健全化判断比率などの対象



◆特別会計決算額					(単位：万円)	
会計名		歳入決算額	歳出決算額	21 年度末 地方債残高		
国民健康保険	事業勘定	122 億 2,323	121 億 8,074	—		
	直診勘定	10 億 5,695	10 億 2,918	15 億 498		
老人保健		4,246	4,214	—		
後期高齢者医療		9 億 7,144	9 億 7,113	—		
介護保険	保険事業勘定	83 億 3,956	83 億 3,219	—		
	サービス事業勘定	3 億 5,020	3 億 5,011	8 億 7,107		
簡易水道事業		14 億 4,336	13 億 2,088	84 億 7,817		
下水道事業		46 億 315	46 億 131	257 億 6,810		
農業集落排水事業		18 億 6,509	18 億 6,432	154 億 2,172		
浄化槽事業		3 億 5,968	3 億 5,885	9 億 1,614		
バス事業		9,302	9,302	1,166		
米里財産区		477	477	—		

この制度に照らし合わせた本市の健全度合いは、下表のとおりで、すべて健全な段階にあります。総合水沢病院の資金不足比率は 20 年度の 12.2%から 6.6%に改善しており、健全段階を保持しています。

また、以前公表した健全化判断比率のうち、実質公債費比率の計算過程に誤りがあったため、19 年度決算分を 21.3%、20 年度決算分を 22.0%に修正しました。

◆ 21 年度決算に基づく健全化判断比率					(単位：%)	
項目名	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率		
奥州市	—	—	21.8	205.9		
早期健全化基準	11.58	16.58	25.0	350.0		
財政再生基準	20.0	40.0	35.0			

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」と表示

◆ 21 年度決算に基づく資金不足比率			(単位：%)	
項目名	資金不足比率	経営健全化基準		
水道事業会計	—	20.0		
総合水沢病院事業会計	6.6	20.0		
まごころ病院事業会計	—	20.0		
国民宿舎等事業会計	—	20.0		
簡易水道事業特別会計	—	20.0		
下水道事業特別会計	—	20.0		
農業集落排水事業特別会計	—	20.0		
浄化槽事業特別会計	—	20.0		

※資金不足額がないものは「—」と表示